

中部方面混成団創立12周年 大津駐屯地創設60周年

記念行事盛大に開催



来場者数
4,170人

中部方面混成団及び大津駐屯地（団長兼ねて駐屯地司令 芝 伸彦 一陸佐）は、平成三十一年四月二十七日（土）、国会議員、自治体の首長・議員、関係機関等多数の来賓のご臨席のもと、混成団創立十二周年駐屯地創設六十周年記念行事を盛大に開催した。観閲式は、中部方面混成団副団長（堀次郎一陸佐）を観閲部隊指揮官として団隷下部隊が参列式典において芝司令は「自衛隊は組織としてその力を発揮するところである。自分一人が良ければいいというものではなく、仲間のため、更に強くなることを目指せ。」と隊員に思いを伝えた。観閲行進では、第一〇九教育大隊に入隊した新隊員四七六名を先頭に第一一〇教育大隊、第四陸曹教育隊、第四十七普通科連隊、第四十九普通科連隊に加え、各地からの支援部隊の車両が来場者の前を行進し、大きな喝采を浴びた。式典後は、中部方面音楽隊による音楽演奏を皮切りに、大津駐屯地名物でもある新隊員による自衛隊体操、第四十九普通科連隊基幹による迫力ある模擬戦闘訓練展示が行われ来場者を魅了した。体験乗船では、今回初めて第三〇四水際障害中隊（和歌山駐屯地）九四式水際障害敷設置の支援を受け多数の来場者が琵琶湖上の遊覧を楽しんだ。他、各種のイベントで来場者をもてなし、盛会裏のうち記念行事を終了した。



MACB
QRコード
編集・発行

中部方面混成団
本部広報室

Tel.077-523-0034



観閲行進



自衛隊体操



音楽演奏



模擬戦闘訓練展示



模擬売店



94式水際障害敷設置

体験乗船

- 感謝状受賞者
- 混成団長感謝状
- 中部方面混成団友の会(団体)
会長 田中 清司様
混成団友の会
常任理事 戸崎 秀樹様
事務局次長 橋爪 健司様
四十九普通連〇B会
副会長 岡崎 弘之様
四十九普通連後援会
会長 井上 賢照様
四曹教友の会
監事 大西東亜子様
第一〇九教友会
会長 大野 勝秀様
- 駐屯地司令感謝状
- 大津自衛隊協力会(団体)
会長 山下 英利様
大津自衛隊協力会
会員 寺田 萬寿夫様
同 数野 博 様
業務隊〇B会
副会長 緒方 正治様
同 道端 輝政様



強くなれ!

令和元年
中部方面混成団
中隊長集合訓練



8.5km走



団長訓話



山地機動訓練



山地機動訓練

混成団は、令和元年五月十六日(木)、十七日(金)の二日間にわたり、中隊長集合訓練を実施した。例年は座学を主体に教育や討議が行われるが、今回の集合訓練には特別な課目として8.5kmの持続走と生地を使用した山地機動訓練が追加された。8.5km走は団本部の持続記録会に参加する形で行われ、各中隊長は団長には『負けてはならぬ』とばかりに照りつける日差しをものともせず力を振り絞って完走した。夜には隊員クラブで懇親会が行われ、深夜二時に起床した中隊長は、訓練想定と第一状況を受領し比良山系の生地を使用した山地機動訓練に出発した。全ての訓練を終えた中隊長に対し混成団長から指揮官の心構えが訓話された。



一発必中!!

令和元年五月十一日(土)、中部方面総監は、第一〇九教育大隊第三一四共通教育中隊(中隊長 古田一尉)の長池射場における新隊員の第一回教習射撃訓練を視察され真剣に挑む新隊員個々に対し暖かみのある激励の言葉をかけられた。当日は、五月にもかかわらず三十度近くある暑さの中、新隊員は教官、助教の指導のもと、緊張した面持ちで一つ一つの動作を確認しつつ射撃準備を実施し人生初となる実弾射撃に臨んだ。緊張感漂う中、射撃を開始した新隊員達は引き金を引き、射弾を導く動作を確実に実施しながら一発一発の重みをかみ締めた。新隊員達は今後更に射撃予習及び教習射撃を積み重ね、6月の射撃検定合格に向け練度向上に努める。

中部方面総監視察受察
新隊員(自衛官候補生)
第一回教習射撃



第1期陸曹中級課程開始



第四陸曹教育隊



接敵行進

第四陸曹教育隊（隊長 北村一佐）は、平成三十一年四月四日から「第一期陸曹中級課程教育」を開始した。本課程教育は、昨年度まで集合教育として実施していたが、今年度から新たに課程教育となった。五月十二日から十六日までの間、日本原演習場、比良山系に位置する阿弥陀山周辺及び長池演習場において総合訓練を実施した。本訓練は、小銃小隊長としての実員指揮能力の向上及びチームワークを醸成することとともに、達成感を付与することを目的として、前段訓練では、約三十kmの行進に引き続き約五kmにわたる接敵行進、陣地偵察に基づく攻撃戦術を実施した。後段訓練では、阿弥陀山周辺における潜入、長池演習場の重要目標に対する攻撃を実施した。本訓練間、入校学生百二十六名全員が一丸となり、これまでの訓練成果を存分に発揮し、所望の成果を収めた。

平成三十一年度 各種課程教育始動

隊は、平成三十一年四月一日、第六十期生徒陸曹候補生課程（五十一名）を皮切りに、第三百三十四期初級陸曹特技課程（百四十名）、第三百三十五期一次陸曹候補生課程（四十四名）、第一期陸曹中級課程（百二十六名）、第六十九期陸曹基礎英語課程（五名）等、各種課程教育を開始した。



第1 3 5期1次陸曹候補生課程入校式



第6 2期生徒陸曹候補生課程入校式



第6 9期陸曹基礎英語課程入校式



第1 3 4期初級陸曹特技課程入校式

各課程等教育・行事等フォトピックアップ



駐屯地観桜会



駐屯地年末行事



部外奉仕活動



総合訓練
(陸曹候補生課程)



比叡山史跡研修
(生徒陸曹候補生課程)



講師教育
(陸曹基礎英語課程)



第一〇九教育大隊

第十三期一般陸曹候補生 平成三十一年度自衛官候補生

新隊員教育開始

第一〇九教育大隊（大隊長 藤田二佐）は、第十三期一般陸曹候補生三十四名、平成三十一年度自衛官候補生（女子）二八〇名を受け入れ、大津駐屯地及び豊川駐屯地でそれぞれ入隊式を実施した。新隊員達は、希望と不安を胸に自衛官としての第一歩を歩み出した。本教育は、四月から六月までの約三ヶ月間実施され、自衛官としての基礎的な知識と体力を身に付けるとともに同期との絆を深めながら各種課目の検定合格を目指し練度向上に努める。



入隊式



決意の言葉(祝賀会食)



サービスの宣誓



武器訓練



武器授与式



体力検定(3000m走)



体力検定(腕立て伏せ)



第四十七普通科連隊

桜が舞う中、各出頭駐屯地にて

訓練開始式を実施



第四十七普通科連隊（連隊長佐藤一佐）は、平成三十一年四月六日から七日の間、即応予備自衛官の各出頭駐屯地（海田市・山口・松山・善通寺・日本原・姫路・米子）にて「平成三十一年度即応予備自衛官招集訓練開始式」を実施した。本行事は、隊員の訓練意欲を向上させるとともに、連隊の隊員としての帰属意識の高揚を図る目的で実施され、各地で合計約二五〇名の隊員が威勢よく連隊歌を熱唱し、力強く今年度のスタートを切った。式辞において連隊長から「即応予備自衛官の諸官は、訓練時間の制約もあり、練度の向上が思うようにいかず歯がゆい思いをしているかもしれないが、限られた時間を有効に活用し、受身の姿勢ではなく一人一人が主体的に考え積極的に訓練に励み、部隊行動への習熟、技量の向上を図ってもらいたい」と訓示し、その言葉は、隊員の心に深く響いた。

連隊は本年度、練成課目「陣地攻撃」の二年目でもあり、これまででの練成成果を更に深化させ、昨年に続き交戦用訓練装を取り入れるなど、より実戦的な訓練を追求し練度の向上を図っていく。なお、本行事にて「平成三十年七月豪雨」において災害派遣活動に従事した即応予備自衛官十二名に対して賞詞が授与された。

部隊家族間コミュニケーション支援



参加者らによる記念撮影



衛生救護



体験喫食

第四十七普通科連隊は、平成三十一年三月三十日に行われた海田市駐屯地桜まつり行事にあわせて「部隊家族間コミュニケーション支援（体験喫食を含む逆参観日）」を実施した。この行事は日頃の父親（夫）が職場でどんな事をしていのかを隊員家族に見学・体験してもらい、活動等に対する理解並びに家族間相互の交流活動を促進し、隊員家族の部隊に対する信頼感の醸成及び家族間相互の協力関係の構築を図ることが目的で、今回は、二十四家族（総勢七十五名（うち子供三十五名））と多数の参加を得られ、行事は大盛況となった。コミュニケーション支援は当初、連隊長の説明の後、食堂において体験喫食を行い、その後、逆参観日として四個組に分かれ、訓練展示（格闘、一〇ミリ迫撃砲操作、衛生救護）、装備品展示、体験試乗を実施した。逆参観日において特に隊員家族の興味を引いたのは装備品体験で、防弾チョッキを試着した子供たちからは「思ったよりも重くない！」と頼もしい声が聞かれた。連隊は、引き続き積極的に部隊と家族の間に交流の場を設け、信頼感の醸成に努めていく。



第四十九普通科連隊

平成三十一年度連隊戦闘隊練成

第四十九普通科連隊（連隊長 前野一佐）は平成三十一年四月四日及び五日、豊川駐屯地内レンジャー訓練塔において、平成三十一年度戦闘隊練成訓練を実施した。この訓練は連隊戦闘隊の任務遂行能力の向上を図るとともに

レンジャーとして必要な知識及び技能を維持・向上させることを目的に実施されている。訓練は隷下各中隊に所属する四十五歳以下のレンジャー特技保有者を対象とし、懸垂降下、ユマーリング及び吊り橋等の山地や空路潜入で必要となる基礎技術を練成したほか、それらを組み合わせ「崖下からの要救助者の救出」を想定とする課目を実施し、今後の行動及び訓練の資とした。



上：崖下から要救助者を引き揚げ
左：救急処置及び担架への固定

PHOTO GALLERY 49



上級特技検定【87ATM】（2.7日 吉原）



技能公募予備自衛官招集訓練（2.15～19 豊川）



連隊第5次野営【LAM射撃】（2.21～24 あいば野）



#15召集訓練（2.8 信太山）



連隊射撃競技会（3.13～14 高山射場）



連隊持続走競技会（3.18 豊川）



連隊創隊15周年記念行事（3.31 豊川）



転入家族オリエンテーション（3.31 豊川）



第一〇教育大隊

第十三期一般陸曹候補生

入隊式

第一〇教育大隊（大隊長・藤井二佐）は四月六日に大久保駐屯地、四月八日に松山市民会館において入隊式を実施した。式典は国歌斉唱で開始され、申告に引き続き、宣誓を実施。宣誓では、代表者の島村曹候補生及び名古屋曹候補生による宣誓を実施した後、一人ひとりが自らの氏名を呼称して、入隊の決意を式場に響かせた。

藤井大隊長は、式辞で「教育の中で苦しいこと、つらいことがあるけれども、これを

松山



答辞（清家曹候補生）



宣誓（島村曹候補生）



家族との懇談



団長祝辞



答辞（田中曹候補生）



宣誓（名古屋曹候補生）



家族との懇談



副団長祝辞

乗り越えてほしい。」と激励。また、芝団長は祝辞で、「仲間の手を差し伸べ引張れる隊員となり、高く険しい壁には、真正面から挑み一丸となってそれを乗り越えてほしい。」と激励した。

答辞では、清家曹候補生及び田中曹候補生が、「災害派遣で活躍している自衛官の姿を見て、この道を目指しました。」とそれぞれ入隊の動機を述べ、これから本格的に始まる訓練に対しその決意を新たにしました。

式典後は、家族との会食及び懇談が実施され、着隊からわずかの期間で成長した新隊員の姿を見た家族は、とても驚いた様子だった。新隊員は、久しぶりに再会する家族に照れながらも自然と笑みをこぼしていた。

大久保

教育の様子



体力検定（戦技）



10 km行進



射撃予習

松山



小銃掩体の構築



25 m射撃



10 km行進

大久保